



イーレックス株式会社[9517]

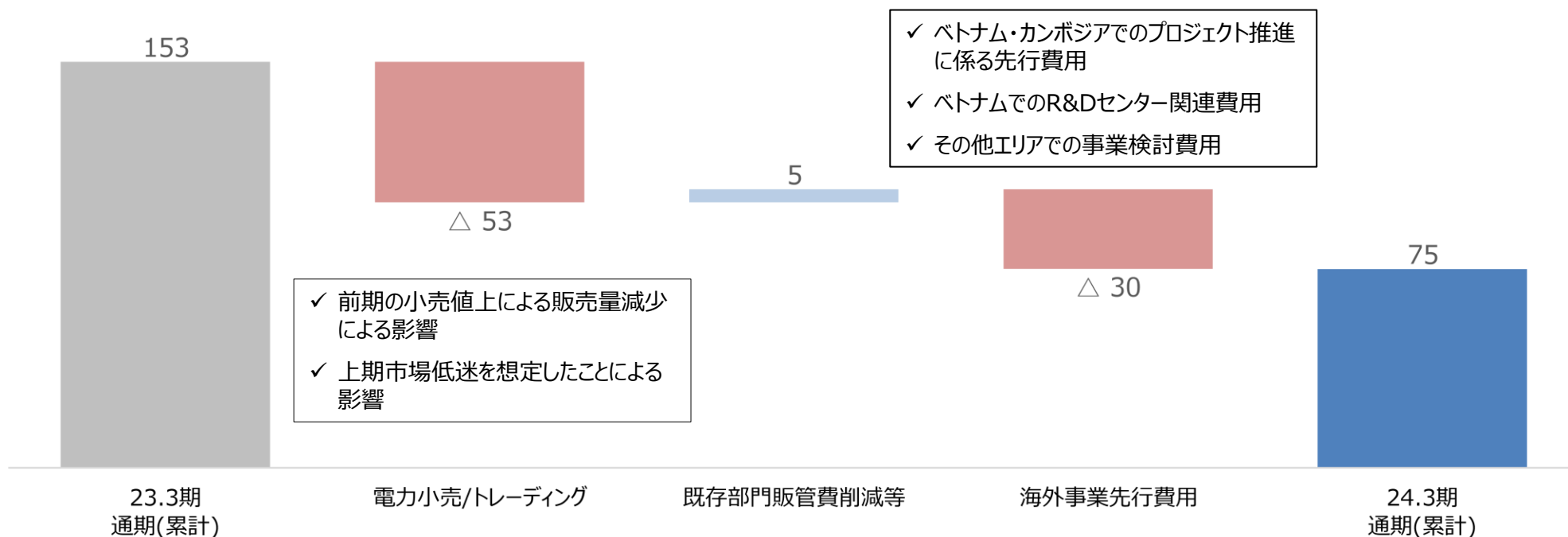
2023年3月期
決算説明会資料

2023年5月15日

- 小売価格の戦略的見直しの影響による販売数量減と、FY23上期の市場低迷を想定したことにより、小売+トレーディングの収益寄与度が低下
- 上記に加えて、ベトナム・カンボジア等の先行費用増加が経常利益を押し下げる計画となっている

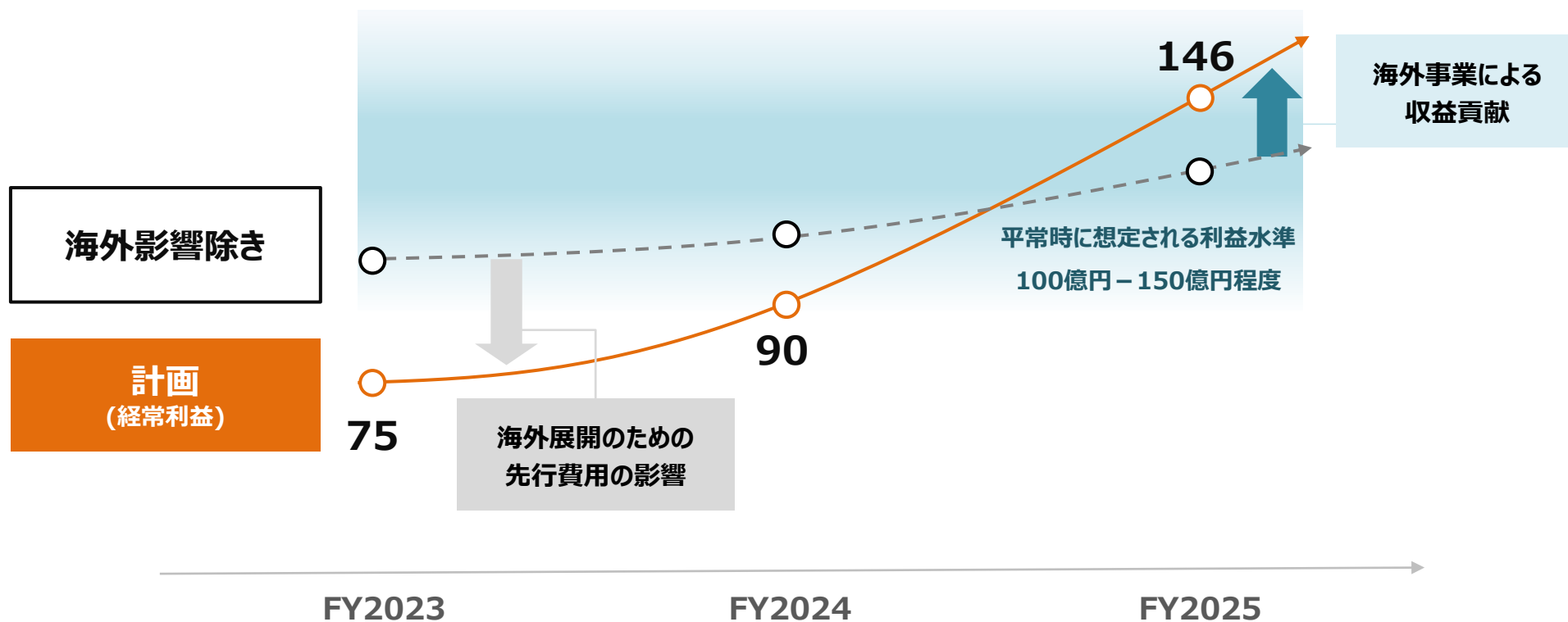
経常利益の主な変動要因

(単位：億円)

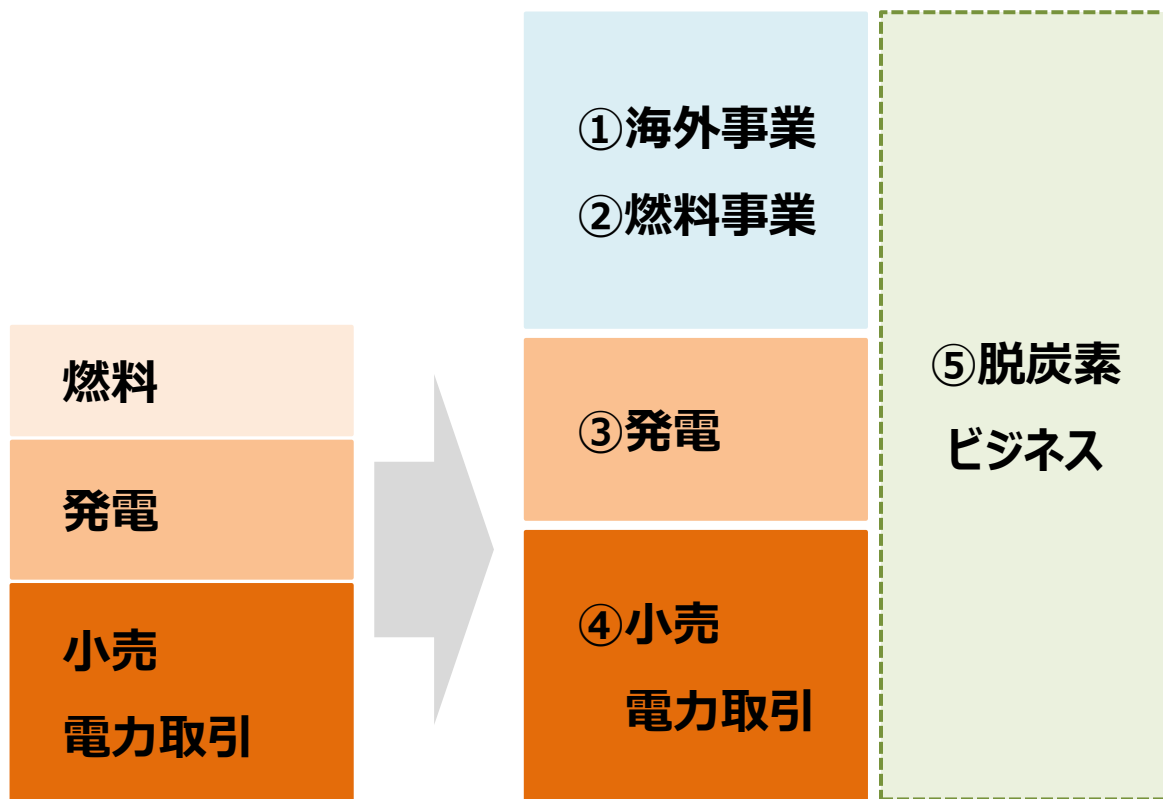


- 平常時に想定される利益水準に対して、海外事業の先行コストによるマイナス影響が発生するが、将来の成長のための必要経費と整理

事業計画と海外先行コストの関係イメージ (億円)



- 現状のビジネスモデルについては、強守の取り組みにより着実な成長を目指す
- 加えて、展開の取り組みにより、海外事業（発電・燃料）が収益の柱に成長
- また、国内外共に、脱炭素をテーマに取り組みを進め、脱炭素価値が大きな収益源となる見通し

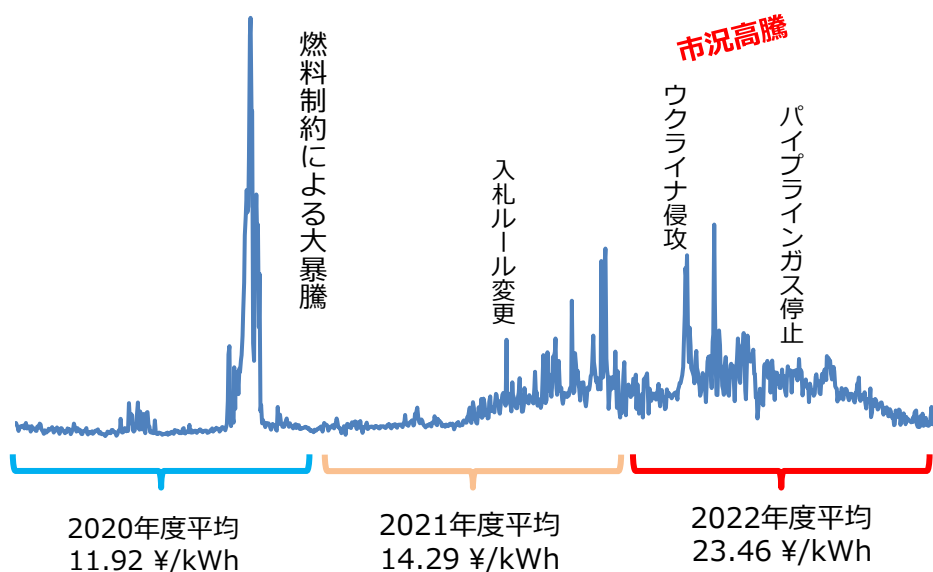


想定される将来：

- 2050年カーボンニュートラル実現に向けて、グローバルで脱炭素へのコミットが加速
- 国境を越えて、再エネ電源の確保や脱炭素価値取引が活発化
- 左記ビジネスにより創出される脱炭素価値が、新たな収益の柱になると想定

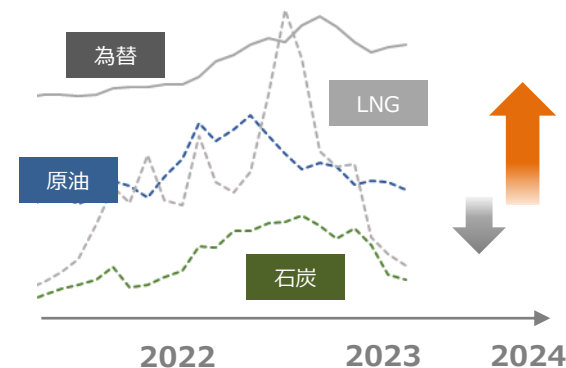
■ エネルギー事業を取り巻く環境の著しい変化を踏まえ、事業戦略の再構築を行った

卸電力市場の変動



化石燃料価格変動

2022年度は、2021年4月比で原油は約2倍、石炭：5倍、LNG：3倍、為替：1.2倍で推移



- 変化に対し、エネルギーベンチャー企業として「挑戦とスピード」をもって対処
- グローバルな脱炭素への貢献をゴールとした再構築を推進

ereX